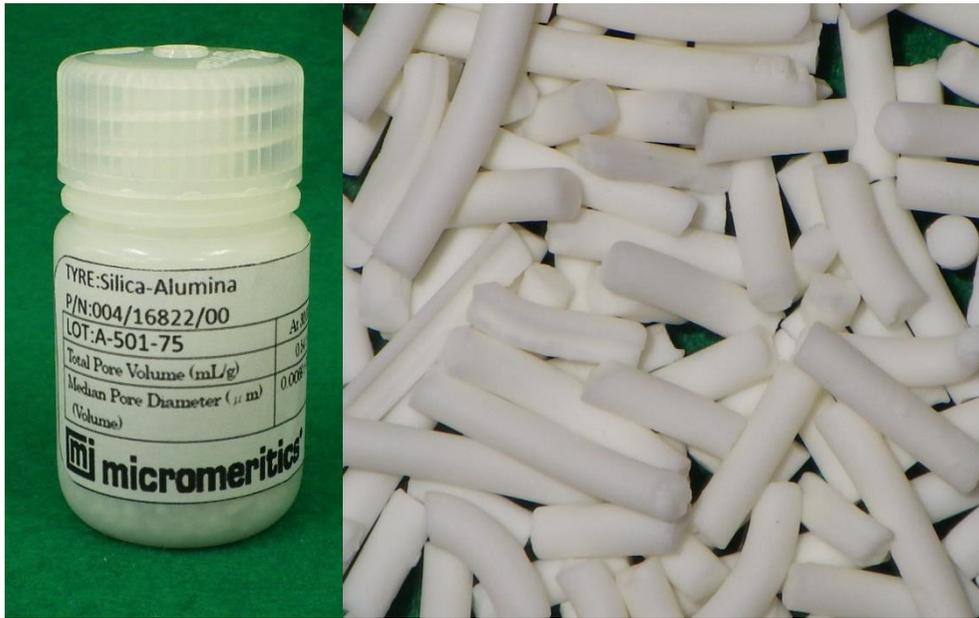
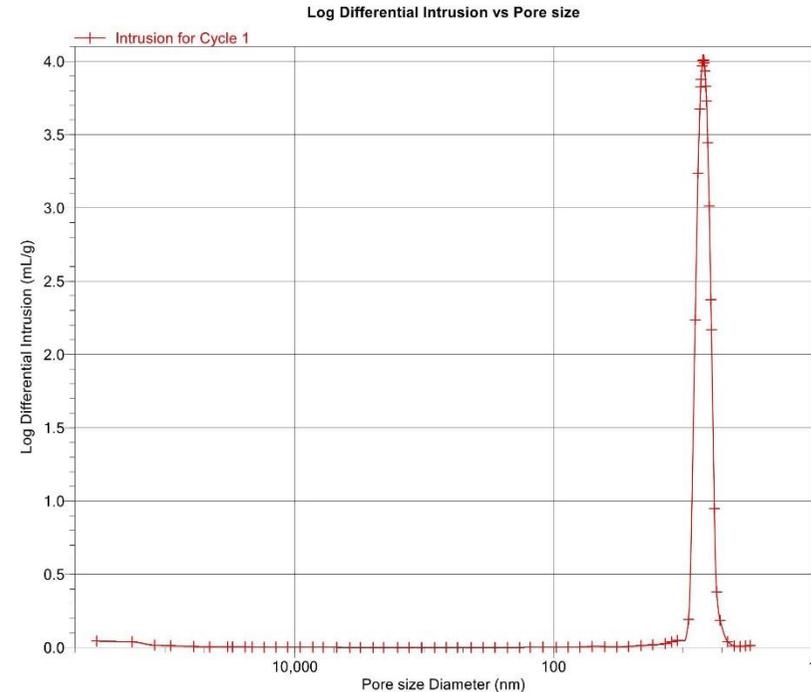


細孔分布測定装置による測定結果



参照試料写真



参照試料測定結果

左の写真は、装置メーカーにて販売されている参照試料で 1.5mm 程度の直径の円柱状をしており、この参照試料を測定することで装置の検定を実施しています。

参照試料の測定結果はセル容積 5cc、水銀容積 1.1cc の粉体用セルを利用した結果で、7nm の箇所に大きなピークが現れ、その後にピークは無くなっているため、この参照試料は 7nm 付近に気孔径が集中していることがわかります。参照試料には気孔径が規定されており、実測値と規定値にて比較し精度を確認します。

水銀を利用した細孔分布の測定は気孔径の分布を数値化できる便利な手法である一方、気孔径は水銀の圧入時の圧力のみでの評価となり気孔形状は反映されないため注意が必要です。また、毒物である水銀を利用するので、水銀の管理、ドラフトの設置、作業主任者の任命、特定健康診断の実施などが必要なため、測定が可能な機関が減っている課題もあります。